

再 評 価 個 表 (記 入 例)

整理番号	1	事業の種類	道路(改築)	補助(交付金)単県	事業主体	熊本県																																																																																																	
1, 箇所名・事業名		国道〇〇号社会資本整備総合交付金																																																																																																					
2, 事業箇所		■□郡〇×町△★地内																																																																																																					
3, 再評価の回数		1 回目 前回の再評価: R3 年度 (2021 年度)																																																																																																					
4, 評価の対象となる理由		要綱第2条(2) 事業採択後10年が経過した時点で、一部供用されている事業を含め、継続中の事業																																																																																																					
5, 事業根拠法等		道路法																																																																																																					
6, 前回の委員会時の付帯意見		<p>前回の対応方針 (継続)・休止・再開</p> <p>国道〇〇号は、★☆都市圏と△★地域を連絡する主要な幹線道路である。△★地域の産業活動や観光開発の支援、生活道路としての役割も大きく、さらには第1次緊急輸送道路、及び合併支援道路としても重要な路線である。しかし、事業箇所は、道路幅員が狭く、線形も悪いことから、車両の離合が困難な区間が存在しており産業活動に支障を来している。加えて歩道がないことから、小中学生の通学が危険にさらされるなど、地域住民の生活にも大きな支障が生じている。</p> <p>今後は、用地取得を速やかに進め、歩行者の安全と車両の円滑な走行環境を確保すべく、事業の早期完了を図ること。</p>																																																																																																					
7, 事業概要		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 事業目的 イ) 〇×町中心市街地の交通渋滞の緩和 ロ) 鉄道との平面交差箇所の解消 ハ) 緊急輸送道路整備(第1次確保道路) </td> <td style="width: 50%;"> くまもと新時代共創 基本方針での位置付け 4つの方向性 県民の命、健康、安全・安心を守る 17の施策 交通の利便性向上 </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>全体計画</th> <th>単位</th> <th>当初計画時</th> <th>前回再評価時</th> <th>今回再評価時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長</td> <td>m</td> <td>3,400</td> <td>3,400</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>幅員</td> <td>m</td> <td>16.0</td> <td>16.0</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>橋梁</td> <td>箇所</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>m²</td> <td>63,700</td> <td>63,700</td> <td>45,900</td> </tr> </tbody> </table>					事業目的 イ) 〇×町中心市街地の交通渋滞の緩和 ロ) 鉄道との平面交差箇所の解消 ハ) 緊急輸送道路整備(第1次確保道路)	くまもと新時代共創 基本方針での位置付け 4つの方向性 県民の命、健康、安全・安心を守る 17の施策 交通の利便性向上	全体計画	単位	当初計画時	前回再評価時	今回再評価時	延長	m	3,400	3,400	2,200	幅員	m	16.0	16.0	16.0	橋梁	箇所	3	3	2	用地	m ²	63,700	63,700	45,900																																																																						
事業目的 イ) 〇×町中心市街地の交通渋滞の緩和 ロ) 鉄道との平面交差箇所の解消 ハ) 緊急輸送道路整備(第1次確保道路)	くまもと新時代共創 基本方針での位置付け 4つの方向性 県民の命、健康、安全・安心を守る 17の施策 交通の利便性向上																																																																																																						
全体計画	単位	当初計画時	前回再評価時	今回再評価時																																																																																																			
延長	m	3,400	3,400	2,200																																																																																																			
幅員	m	16.0	16.0	16.0																																																																																																			
橋梁	箇所	3	3	2																																																																																																			
用地	m ²	63,700	63,700	45,900																																																																																																			
8, 事業進捗状況(R8見込み) ※主たる工種は延長、幅員、用地、重要構造物等を記入する事		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>採択年度</th> <th>用地着手</th> <th>工事着手</th> <th colspan="4">事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20 (2008年)</td> <td>H21 (2009年)</td> <td>H24 (2012年)</td> <td>(当初)</td> <td>H20 (2008年)</td> <td>~</td> <td>R3 (2021年)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(前回)</td> <td>H20 (2008年)</td> <td>~</td> <td>R3 (2021年)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(今回)</td> <td>H20 (2008年)</td> <td>~</td> <td>R8 (2026年)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">当初計画 事業費 (内用地補償費)</th> <th rowspan="2">前回計画 事業費 (内用地補償費)</th> <th rowspan="2">今回再評価 時事業費 A (内用地補償費)</th> <th colspan="6">事業の状況(百万円)</th> </tr> <tr> <th>~R5年(2023年) B</th> <th>R6年(2024年) C</th> <th>R7年(2025年) D</th> <th colspan="2">投資事業費 E=B+C+D</th> <th>進捗率 F=E/A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費</td> <td>5,000 (1,340)</td> <td>6,400 (1,340)</td> <td>3,326 (1,140)</td> <td>1,209 (308)</td> <td>390 (92)</td> <td>220 (160)</td> <td colspan="2">1,819 (560)</td> <td>国庫 5/10 県 5/10</td> <td>55 % (49) %</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6(2024)まで</th> <th>R7(2025)まで</th> <th>R8(2026)まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業進捗率</td> <td>36 %</td> <td>48 %</td> <td>55 %</td> </tr> <tr> <td>(内用地補償費)</td> <td>(27) %</td> <td>(35) %</td> <td>(49) %</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>主たる工種等</th> <th>単位</th> <th>計画量 (A)</th> <th>施工見込みの量 (B) (令和8年度(2026年度)末)</th> <th>予定進捗率 (B/A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長</td> <td>m</td> <td>2,200</td> <td>1,500</td> <td>68 %</td> </tr> <tr> <td>橋梁</td> <td>箇所</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>66 %</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>m²</td> <td>45,900</td> <td>33,300</td> <td>72 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 進捗状況</p> <p>① 整備状況と事業の効果及び目標達成状況 令和6年度(2024年度)までに1,300mを2車線で供用した。</p> <p>a) 事業目的について</p> <p>イ) 市街地及び主要交差点部が改良され渋滞緩和が図られている。</p> <p>ロ) 踏切を立体交差とし、鉄道との平面交差箇所が無くなりボトルネックが解消された。</p> <p>ハ) 緊急輸送道路として整備され、その機能が強化・確保された。</p> <p>b) その他の事業効果について</p> <p>イ) 自歩道の整備により、安全・安心な歩行空間が図られている。</p> <p>ロ) 緑地帯を整備し道路沿線の環境向上が図られている。</p> <p>② 未着工工事及び課題や問題点、今後の事業の見直し 今後は〇×町施行の区画整理事業の進捗に併せて残る区間についても、暫定2車線によりバイパスの整備を進める。全体供用開始はR8年度(2026年度)を予定している。</p> <p>③ 関連事業の進捗状況及び本事業との関連内容 〇×町施行の区画整理事業の進捗については、53%終了している。現在地元と鋭意交渉を行っているが、一部共有地が存在し、相続の整理に長期間を要する見込みである。事業の完了はR8年度(2026年度)を見込んでいる。本改良計画は区画整理による用地を見込んで計画されており早期進捗が望まれる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業費</th> <th>進捗状況</th> <th>事業内容</th> <th>事業年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>△★地区区画整理事業</td> <td>200,000 千円</td> <td>53 %</td> <td>用地9,000m²</td> <td>H12(2000)~H28(2016)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 事業計画の変更があった場合の内容 平成30年度(2018年度)に他事業との調整のため計画延長を2.2kmに変更した。用地の取得などに期間を要した事から完了年度を令和3年度(2021年度)から令和8年度(2026年度)に変更し</p>					採択年度	用地着手	工事着手	事業期間				H20 (2008年)	H21 (2009年)	H24 (2012年)	(当初)	H20 (2008年)	~	R3 (2021年)				(前回)	H20 (2008年)	~	R3 (2021年)				(今回)	H20 (2008年)	~	R8 (2026年)	事業費	当初計画 事業費 (内用地補償費)	前回計画 事業費 (内用地補償費)	今回再評価 時事業費 A (内用地補償費)	事業の状況(百万円)						~R5年(2023年) B	R6年(2024年) C	R7年(2025年) D	投資事業費 E=B+C+D		進捗率 F=E/A	費	5,000 (1,340)	6,400 (1,340)	3,326 (1,140)	1,209 (308)	390 (92)	220 (160)	1,819 (560)		国庫 5/10 県 5/10	55 % (49) %		R6(2024)まで	R7(2025)まで	R8(2026)まで	事業進捗率	36 %	48 %	55 %	(内用地補償費)	(27) %	(35) %	(49) %	主たる工種等	単位	計画量 (A)	施工見込みの量 (B) (令和8年度(2026年度)末)	予定進捗率 (B/A)	延長	m	2,200	1,500	68 %	橋梁	箇所	3	2	66 %	用地	m ²	45,900	33,300	72 %	事業名	事業費	進捗状況	事業内容	事業年度	△★地区区画整理事業	200,000 千円	53 %	用地9,000m ²	H12(2000)~H28(2016)
採択年度	用地着手	工事着手	事業期間																																																																																																				
H20 (2008年)	H21 (2009年)	H24 (2012年)	(当初)	H20 (2008年)	~	R3 (2021年)																																																																																																	
			(前回)	H20 (2008年)	~	R3 (2021年)																																																																																																	
			(今回)	H20 (2008年)	~	R8 (2026年)																																																																																																	
事業費	当初計画 事業費 (内用地補償費)	前回計画 事業費 (内用地補償費)	今回再評価 時事業費 A (内用地補償費)	事業の状況(百万円)																																																																																																			
				~R5年(2023年) B	R6年(2024年) C	R7年(2025年) D	投資事業費 E=B+C+D		進捗率 F=E/A																																																																																														
費	5,000 (1,340)	6,400 (1,340)	3,326 (1,140)	1,209 (308)	390 (92)	220 (160)	1,819 (560)		国庫 5/10 県 5/10	55 % (49) %																																																																																													
	R6(2024)まで	R7(2025)まで	R8(2026)まで																																																																																																				
事業進捗率	36 %	48 %	55 %																																																																																																				
(内用地補償費)	(27) %	(35) %	(49) %																																																																																																				
主たる工種等	単位	計画量 (A)	施工見込みの量 (B) (令和8年度(2026年度)末)	予定進捗率 (B/A)																																																																																																			
延長	m	2,200	1,500	68 %																																																																																																			
橋梁	箇所	3	2	66 %																																																																																																			
用地	m ²	45,900	33,300	72 %																																																																																																			
事業名	事業費	進捗状況	事業内容	事業年度																																																																																																			
△★地区区画整理事業	200,000 千円	53 %	用地9,000m ²	H12(2000)~H28(2016)																																																																																																			
		評価		A・(B)・C																																																																																																			

<p>9, 社会経済情勢等 の変化</p>	<p>(1) 事業に関する社会経済状況</p> <p>① 現在の状況</p> <p>1) 本県の広域ネットワークに形成に向けた基本軸を形成する重要な路線である。</p> <p>2) 緊急輸送道路第1次確保路線に位置付けられ、災害発生時に主要拠点と接続する緊急輸送道路ネットワークの構築のため早期整備が必要である。</p> <p>3) 渋滞差地点の解消を図り、安全で安心した暮らしを支えるため、道路の早期整備が必要である。</p> <p>② 当初から変化の有無 有 ・ 無</p> <p>③ 変化の内容 当初緊急輸送道路の位置付けはなかったがH△年の見直しより緊急輸送道路となった。</p> <p>(2) 事業に関連する評価指標等</p> <p>① 再評価指標</p> <p>1) 活力 ・ 円滑なモビリティの確保 ・ 国土・地域ネットワークの構築 ・ 物流効率化の支援</p> <p>2) 安全 ・ 災害への備え</p> <p>② 当初から変化の有無 有 ・ 無</p> <p>③ 変化の内容 緊急輸送道路に位置付け</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">評価</td> <td style="width: 15%;">S</td> <td style="width: 15%; border: 2px solid black; border-radius: 50%;">A</td> <td style="width: 15%;">B</td> <td style="width: 15%;">C</td> </tr> </table>	評価	S	A	B	C
評価	S	A	B	C		
<p>10, 環境への影響</p>	<p>(1) 自然環境等状況及びその影響等</p> <p>① 環境への影響とその対策 計画地の周辺で〇〇の希少種△△が確認されたため、一部区間を高架化するなどにより、緑地部の地形改変を小さくし、動植物の生息環境に配慮した。</p> <p>② その他特記すべき事項 改良予定箇所に町指定の天然記念物の銀杏の大木があり隣接する公園に移設する必要がある。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">評価</td> <td style="width: 15%; border: 2px solid black; border-radius: 50%;">A</td> <td style="width: 15%;">B</td> <td style="width: 15%;">C</td> </tr> </table>	評価	A	B	C	
評価	A	B	C			
<p>11, 地元住民・受益 対象者及び関係 機関の意向</p>	<p>(1) 地元住民 ・ 受益対象者の意向</p> <p>① 事業採択時の意向 〇×町中心市街地の混雑緩和及び良好な市街地環境の形成に不可欠なバイパスの整備を地元から強く要望されていた。特段の反対意見はなかった。</p> <p>② 事業途中の意向 一部事業区間に反対の意見もあったが、地元説明会を開催し理解をいただいた。早期完成が強く要望されている。</p> <p>③ 評価実施時の意向 平成28年度(2016年度)までに一部開通し状況は改善されてきているが、引き続き早期完成が要望されている。(別添要望書参照) 事業に対する反対意見は受けていない。</p> <p>(2) 関係機関 ・ 団体の意向</p> <p>① 事業採択時の意向 沿線市町村による建設促進協議会があり早期整備の要望がなされている。</p> <p>② 評価実施時の意向 建設促進協議会より引き続き早期整備の要望がなされている。 用地買収についても協力的であり、工事に対する苦情等も行われていない。 また、沿線の小学校PTAより早期着工の要望があった。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">評価</td> <td style="width: 15%;">S</td> <td style="width: 15%; border: 2px solid black; border-radius: 50%;">A</td> <td style="width: 15%;">B</td> <td style="width: 15%;">C</td> </tr> </table>	評価	S	A	B	C
評価	S	A	B	C		

12,
費用対効果分析

(1) 手法

「費用便益分析マニュアル 令和7年(2025年)8月 国土交通省道路局 都市局」により算定
(前回評価は、「〇〇マニュアル 平成〇年〇月 〇〇省〇〇局」により算定)

(2) 費用対効果の変化

【 前回再評価時 】 【 今回再評価時 】

$$B/C = \frac{85.87 \text{ 百万円}}{69.79 \text{ 百万円}} = 1.23 \quad B/C = \frac{61.04 \text{ 百万円}}{34.19 \text{ 百万円}} = 1.79 > 1.00$$

(3) 費用便益分析手法

(単位 : 百万円止め)

区 分	前回再評価時	今回再評価時	
	(基準日 : R2年(2020年))	(基準日 : R7年(2025年))	
費用項目	事業費	65.23	31.96
	維持管理費	4.56	2.23
	総費用 (C)	69.79	34.19
便益項目	走行時間短縮	80.12	57.62
	走行経費減少	5.6	3.34
	交通事故減少	0.15	0.08
	総便益 (B)	85.87	61.04
費用便益比 (B / C)	1.23	1.79	

① 費用項目で特記する事項

② 便益項目で特記する事項

推計交通量: 前回評価時 〇〇台/日(H〇(●●)センサスをベースにH△(▲▲)を推計)
 今回 △△台/日(H★(☆☆)センサスをベースにH■(□□)を推計)

③ 貨幣価値換算ができない便益

- ・ライフラインとなる緊急輸送道路機能拡充
- ・孤立集落解消等の安全安心な暮らしの確保
- ・救急医療機関へのアクセス確保

④ 便益算定年数 : 50年

割引率 : 4%

評価 S A B C

13,
代替案立案及び
計画変更の必要
性やコスト縮減
の可能性

(1) 代替案立案及び計画変更の必要性

- ・ 必要性の有無 有 無

・ 内容

地元と設計前に意見交換を行い、住民の意見を反映した設計を行っている。
他の代替案は考えていない。

(2) コスト縮減の取り組み等

- ・ 再生資材の利用を積極的に進めている。

評価 A B C

14,
その他
(評価項目改善
の可能性等)

(1) 評価項目について

- ・ 評価Bがある場合、長期的な事業継続阻害要因の有無 有 無

- ・ 評価Cがある場合、その項目の改善の可能性の有無 有 無

・ 内容

関連事業に用地買収未解決箇所があり、解決に時間を要する。

(2) その他

評価Bがある場合 長期的な事業継続阻害要因の有無	有	無
評価Cがある場合 改善の可能性の有無	<input checked="" type="radio"/> 有	無 <input type="radio"/>

15,
総合評価及び対応方針(案)

評価項目		評価	総合評価
8 事業の進捗状況		B	B
9 社会経済情勢等の変化		A	
10 環境への影響		A	
11 地元住民・受益対象者及び関係機関の意向		A	
12 費用対効果分析		S	
13 代替案立案及び計画変更の必要性やコスト縮減の可能性		B	
14 その他 (評価項目について)	評価B:長期的な事業継続阻害要因	無	/
	評価C:その項目の改善の可能性	—	
対応方針(案)			休止

(1) 総合評価 (事業課による自己評価)

関連事業の用地取得に当たり、共有地の相続が多くその解決に長期間を要す見込みである。
このため本事業については、用地の解決を見る間、事業休止の方針としたい。
今後、関連事業の用地取得の進捗を見据え、早期の事業再開を図りたい。

○ 対応方針(案)

継続 ・ 終了 ・ **休止** ・ 中止

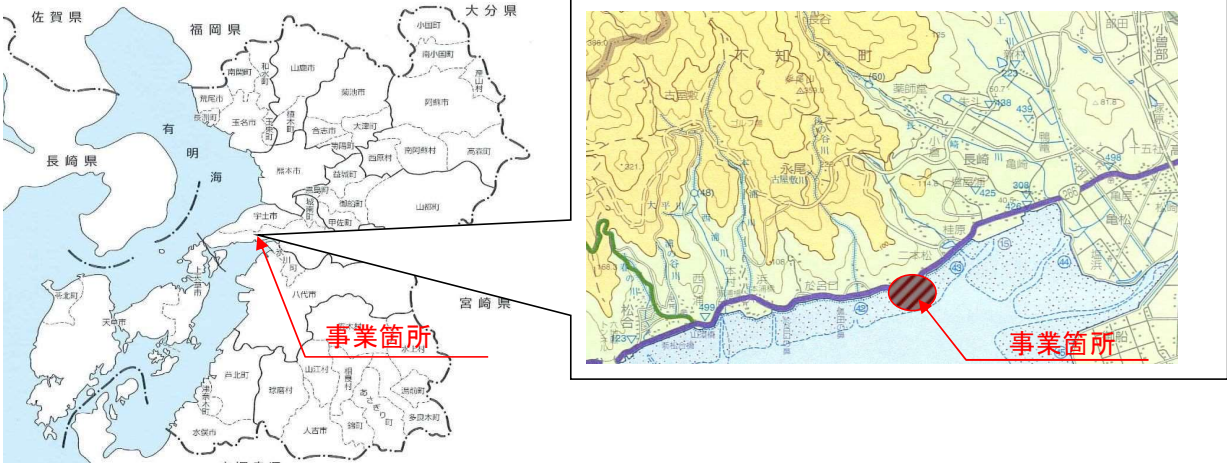
(2) 今後の事業の進め方

関連事業の未解決用地買収に関し早期の解決を図る。

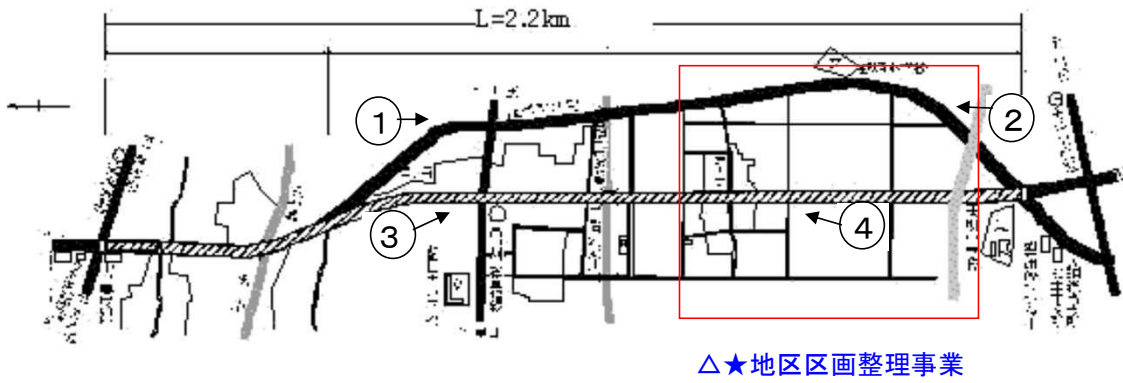
(3) 終了・休止・中止する場合の対応 (事業課案)

今後は、関連事業の早期の問題解決を要請すると共に、計画の見直しを含め早期の事業再開に努める。

位置図

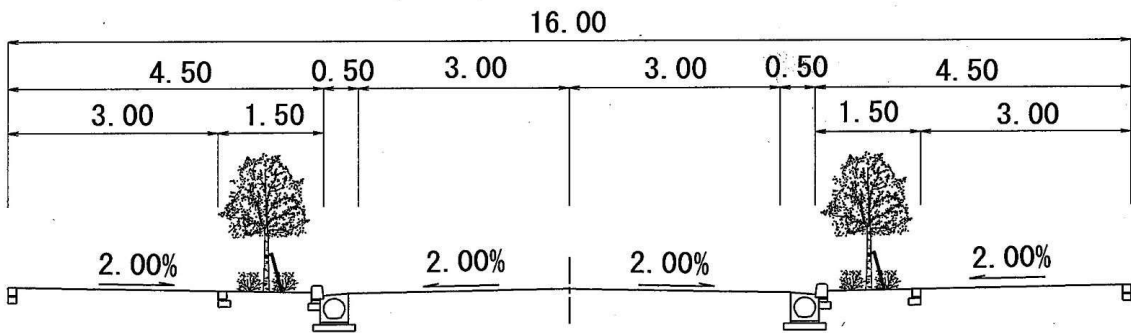


事業概要図



※その他事業の関連性が判る図面を添付すること

標準断面図



写真

現道の状況



供用後の状況



再評価評価基準

8 「事業進捗状況」

- A: 事業の進捗は概ね順調であり、ほぼ計画どおりの完成が見込まれるもの。
 B: 多少の阻害要因があるが、解決できる見通しがあり、完成の見通しがあるもの。
 C: 阻害要因の難易度が高く、現時点では事業進捗の目処が立たないもの。

【事業進捗状況の留意点】

評価Aと評価する基準としては、以下のとおりとする。

- ① 再評価時点で「阻害要因がない」と判断される場合
 ② 『ほぼ計画どおり』の目安としては、事業採択時の事業期間から再評価時点(2回目以降を含む)で3年以内(最大)まで延伸した場合を含む
 ※例えば、事業採択時の事業期間が20年の場合、再評価時点(2回目以降を含む)で事業期間を23年まで延伸した場合は評価Aとする(再評価時点で事業期間を24年以上に延伸した場合は評価Aとは評価しない)。

9 「事業を巡る社会経済情勢等の変化」

- S: 事業を取り巻く環境が変化し、評価指標等において事業採択時以上の効果発現が見込まれるもの。
 A: 事業を取り巻く環境は特に変化しておらず、評価指標等において事業採択時とほぼ同様の効果発現が見込まれるもの。
 B: 事業を取り巻く環境は変化しているが、解決できる見通しがあり、評価指標等において事業採択時と概ね同水準の効果発現が可能な見通しがあるもの。
 C: 事業を取り巻く環境が著しく変化し、評価指標等においてその大半が事業採択時と比べて大幅に低下することが避けられず、現時点では効果発現の目処が立たないもの。

10 「環境への影響」

- A: 環境への影響がないか、あっても軽微で対策の必要がないもの。
 B: 環境への影響はあるが、対策により解決できる見通しがあるもの。
 C: 環境への影響が大きく、対策による解決の目途が立たないもの。

11 「地元住民・受益対象者及び関係機関の意向」

- S: 評価実施時において事業採択時と比べ特段の必要性があるもの。
 A: 評価実施時において事業採択時と比べ特段の変化がないもの。
 B: 事業採択時と比べ若干低下し、改善される目処があるもの。
 C: 事業採択時と比べ著しく低下し、現時点では改善される目処が立たないもの。

12 「費用対効果分析」

- S: 評価実施時において、事業全体B/Cが1.0以上であり、事業採択時以上の費用対効果が期待できるもの。
 A: 評価実施時において、事業全体B/Cが1.0以上のもの。
 B: 評価実施時において、事業全体B/Cが1.0未満であるが、貨幣価値換算できない便益及び残事業B/Cを含めて総合的に判断した場合に費用に見合う効果が期待できるもの。
 C: 評価実施時において、事業全体B/Cが1.0未満であり、貨幣価値換算できない便益及び残事業B/Cを含めて総合的に判断した場合に費用に見合う効果が期待できないもの。
 ー: 国のマニュアル等がなく、事業全体B/Cが算定できないもの。

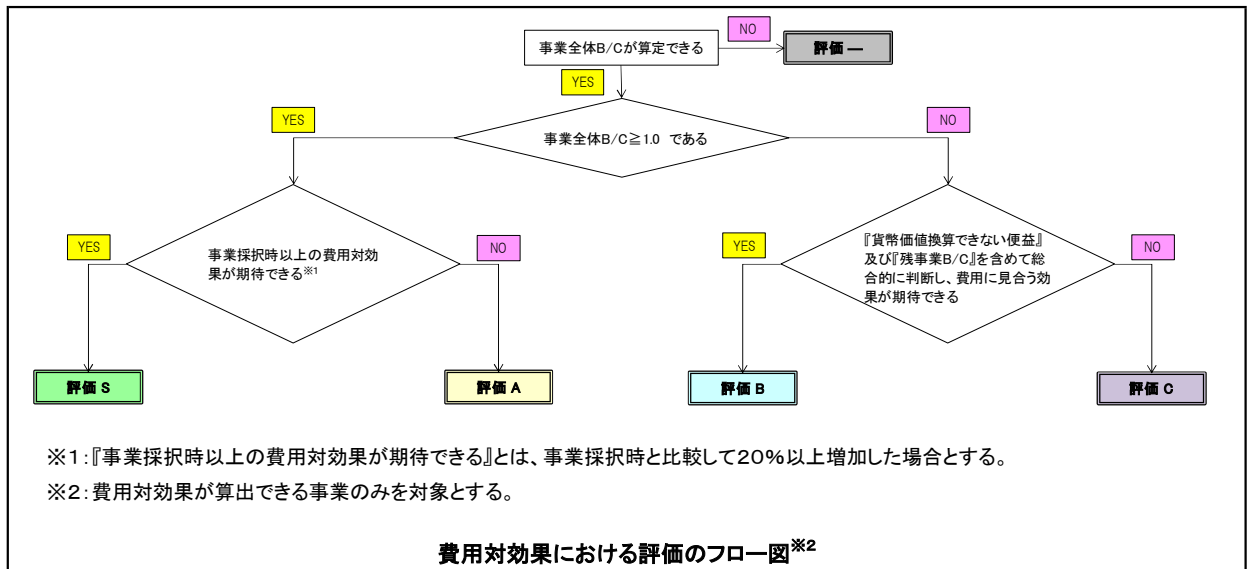
【用語の補足説明】

事業全体B/C: 事業全体の投資効率性を示す指標

$$\text{事業全体B/C} = \frac{\text{事業全体の整備により発現する効果}}{\text{事業全体の整備にかかる事業費}}$$

残事業B/C: 残事業の投資効率性を示す指標

$$\text{残事業B/C} = \frac{\text{再評価時点以降の整備により発現する効果}}{\text{再評価時点以降の整備にかかる事業費}}$$



【費用対効果分析における留意点】

費用便益分析に係るマニュアルの改訂により費用便益比(B/C)が事業採択時より増加した場合(20%以上を含む)は、『評価A』とする。

13 「計画変更等の必要性」

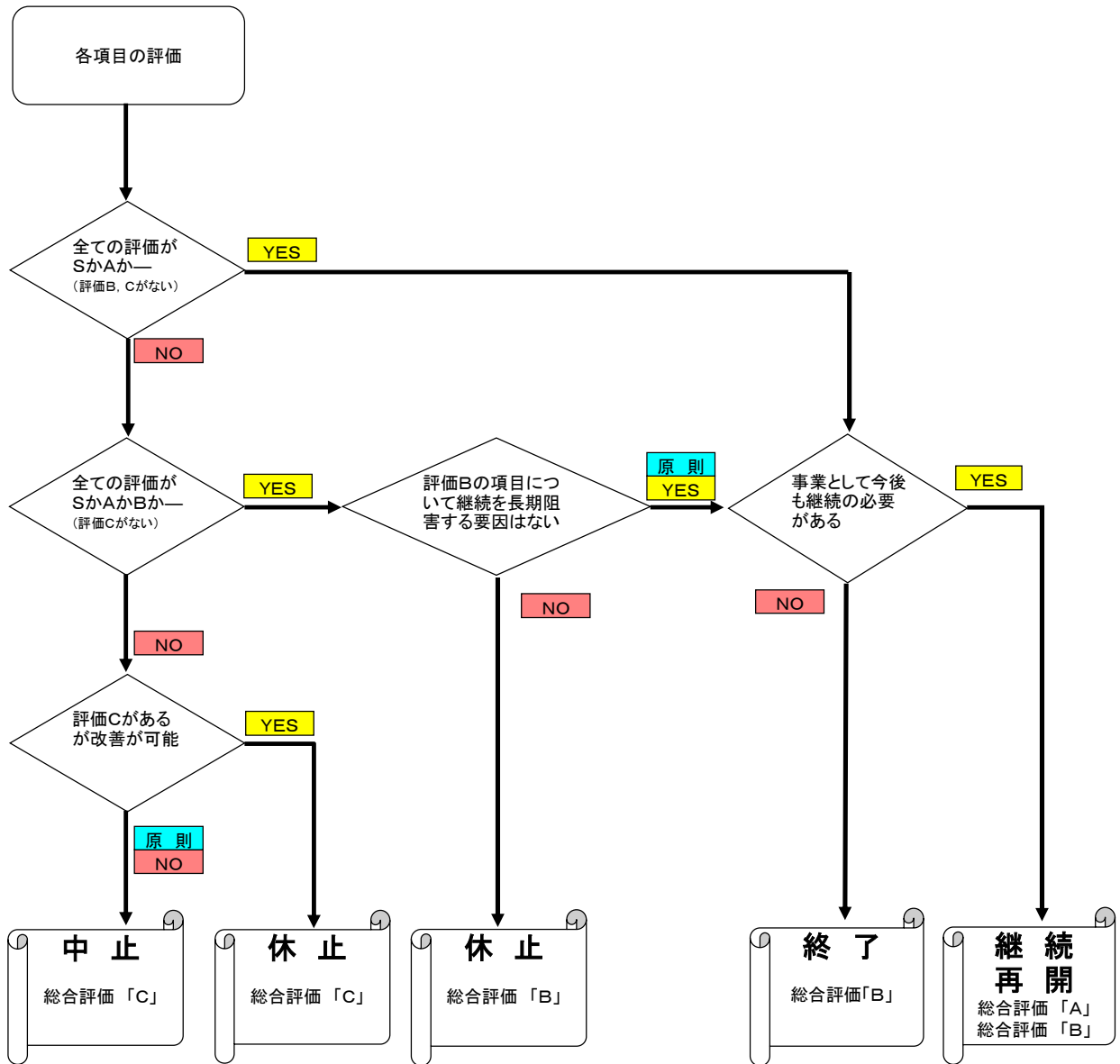
- A: 計画変更の必要がないかあっても軽微なものであり、事業促進が見込まれるもの。
- B: 計画変更が必要であるが、解決できる見通しがあり、事業促進の見通しがあるもの。
- C: 大幅な計画変更が必至であり、現時点では事業促進の目的が立たないもの。

15 「総合評価」

- 8から13までの全ての評価が「S」か「A」か「一」のもの(評価B, Cがないもの)は、総合評価を「A」とし、原則、「継続」とする。
- 8から13までの全ての評価が「S」か「A」か「B」か「一」のもの(評価Cがないもの)は、総合評価を「B」とし、原則、「継続」とする。ただし、「B」と評価された項目について、継続を長期に阻害する要因がある場合には「休止」とする。
判断は(14. その他)の記載による。
- 8から13までの全ての評価が「S」か「A」か「B」か「一」のもの(評価Cがないもの)で、かつ、事業計画を見直し、事業を完了することが妥当と判断されるものは、総合評価を「B」とし、原則、「終了」とする。
- 8から13までの評価項目に「C」がある場合は、総合評価を「C」とし、原則、「中止」とする。
ただし、「C」と評価された項目の改善が可能な場合には「休止」とする。
判断は(14. その他)の記載による。

注: 再評価が2回目以降の場合、『9 「事業を巡る社会経済情勢等の変化』、『11 「地元住民・受益対象者及び関係機関の意向』、『12 「費用対効果分析』の3項目の『事業採択時』は『前回再評価時』に読み替えるものとする。

総合評価の参考フロー図



【対応方針】

- 継続 : 事業を継続することが妥当と判断されるもの
- 終了 : 計画の見直しを行い、事業完了することが妥当と判断されるもの
(社会情勢の変化や用地取得困難等で、計画を見直すことにより事業継続の必要がなくなるもの)
- 休止 : 事業を一時的に休止することが妥当と判断されるもの
- 中止 : 事業を中止することが妥当と判断されるもの
(評価Cがあり改善が見込めないため、事業をやめるもの)
- 再開 : 休止された事業について事業を再開することが妥当と判断されるもの